

ACTA 第11回

秋のワークショップ

2019年11月2日～11月4日

SAVE THE DATES!

サーストン・クラドック恥のテスト(TCTS)の 施行、スコアリング、解釈について

Administering, Scoring, and Interpreting
the Thurston-Cradock Test of Shame (TCTS)

2019年11月2日(土)10:00～18:00

場所:浅草橋ヒューリックカンファレンス
(東京都台東区浅草橋1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル/JR総武線浅草橋
駅西口より徒歩1分)
講師:スティーブン・E・フィン, 中村紀子, ACTAメンバー ※逐次通訳付き

2017年の恥のワークショップや昨年秋の思春期家族のライブTAにご参加された皆さんにはすでにご紹介しましたが、サーストン・クラドック恥のテスト(Thurston-Cradock Test of Shame:TCTS)は、恥をアセスメントするために役に立つ新しい投映法テストです。

今回はこのTCTSについて、スティーブン・E・フィンが施行、スコアリング、解釈について解説をする1日間の集中ワークショップです。このテストが臨床場面で実際にどのように用いられているのかについて、いくつかのケースをお見せします。

TCTSについて興味がある方、恥のアセスメントについてより深く学びたいという方、テストの実際を学ぶ貴重な機会です。どうぞご参加ください。

治療的アセスメントでエピステミックトラストを回復する — 他者を信頼するのが難しいクライアントと すばやく関係を築く

Restoring Epistemic Trust through Therapeutic
Assessment: Building a Relationship
“Superhighway” with Difficult-to-Treat Clients

2019年11月3日(日) 10:00～18:00
11月4日(月祝) 9:30～16:30

場所:浅草橋ヒューリックカンファレンス
(東京都台東区浅草橋1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル/JR総武線浅草橋
駅西口より徒歩1分)
講師:スティーブン・E・フィン, 中村紀子, ACTAメンバー ※逐次通訳付き

なぜ新しい考え方を拒否したり、メンタルヘルスの専門家に強い不信任を抱き続けたりするクライアントがいるのでしょうか？

進化心理学(evolutionary psychology)の2つの新しい概念、エピステミックトラスト(epistemic trust:ET)とエピステミックハイパービジランス(epistemic hypervigilance:EH)はそのようなクライアントを理解し、関わるための優れた視点をもたらします。このワークショップではスティーブン・E・フィンが、ETとEHの理論について説明します。

理論では、他者からの新しい情報を排除しているクライアントの多くは、過去に生き延びるためにそれが必要だったからそうしている、と考えます。そして治療的アセスメントがどれほどEHを減じ、ETを構築するのに向いているかということ、また治療的アセスメントが終了した後も、クライアントが長期にわたって成長し学習することを可能にするかということを示します。

本ワークショップはアセスメントだけでなく心理療法を主に行っている方々にも役立つ内容となっております。是非ご参加ください。

治療的アセスメント入門in東京6月開催!

2019年6月30日(日)10:00～17:00

講師:中村紀子, 村上貢, 小倉菜穂子

場所:飯田橋レインボービル
(東京都新宿区市ヶ谷船河原町11/JR飯田橋駅西口 徒歩5分)

治療的アセスメントの基本的な構造について学びます。
初めて治療的アセスメントを学ぶ方も、もう一度学びたい方にとっても
充実した内容となっております。是非ご参加ください。